

なつ やす  
**夏休み！**  
いきもの  
**生きもの**  
クエスト  
**結果発表表**

こうべ  
**神戸**  
で  
**夏**  
の

いきもの  
**生きもの**  
さがし

2023

こうべし ろっこうざん さとちさとやま せとないかい かせん ちしゅう  
神戸市には、六甲山や里地里山、瀬戸内海や河川・池沼など、  
ゆたかな しぜんが あり、その中でさまざまな生きものが暮らして  
います。

2023年6月1日から8月31日の間、市民の皆さんに参  
加いただき、生きもの調査を行いました。

どのような生きものが見つかったでしょうか？

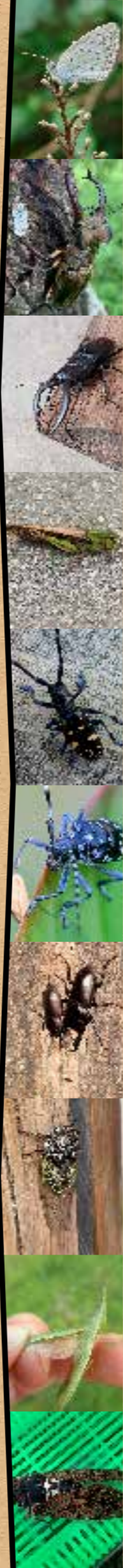
ちようさ つか  
**調査に使ったアプリ**  
**Biome (バイオーム)**

今回の調査で活用した「Biome (バイオーム)」は、身の回りの生きもの  
の写真を撮ることで自分だけのコレクションを作ったり、ほかのみんな  
が集めた生きものを楽しむことができるスマートフォンアプリです。  
日本国内の約10万種類の動物や植物に対応し、写真を撮った生きもの  
の名前を「名前判定 AI」やバイオームのユーザーが教えてくれます。  
2023年9月現在、500万件以上の生きものデータがアプリを通して  
集められ、調査・研究など、地球上の生きものや環境を守る活動に活  
かされています。

※ Biome (バイオーム) は株式会社バイオームが開発運営するアプリです



ダウンロードはこちら



いきもの さがし ちようせん  
**生きもの探しクエストに挑戦！**



今回の調査では、神戸市の自然の豊かさのものをさしとなる  
「里地里山の生きもの」と、人間によってほかの地域から  
持ち込まれた「外来の生きもの」を対象にしました。  
市内の豊かな自然を把握し保全活動につなげることで、外来  
生物の侵入状況を把握し今後の対策につなげていくこと  
を目的としています。

調査はスマートフォンアプリ「Biome (バイオーム)」の「ク  
エスト機能 (期間・地域を指定し生きもの調査をおこなう  
機能)」を活用した結果、372人の参加者のみなさまのお  
かげで、総発見数は730件、そのうち調査対象の情報  
は568件集まり、28人の方がクエストを達成しました。

ちようさ たいしやう い  
**調査対象の生きもの**

ゆたかな しぜん さとちさとやま  
**豊かな里地里山にすむ生きもの**

- |   |  |   |  |                                       |
|---|--|---|--|---------------------------------------|
| ◯みずともり<br><b>コクワガタ</b><br>コウチュウ目クワガタムシ科 | ◯Happyant9150<br><b>ヤマトタマムシ</b><br>コウチュウ目タマムシ科 | ◯じいじだいすき<br><b>ハグロトンボ</b><br>トンボ目カワトンボ科 | ◯純ちゃん (つぶつぶ)<br><b>キイトンボ</b><br>トンボ目イトトンボ科 | ◯のめた<br><b>オニヤンマ</b><br>トンボ目オニヤンマ科    |
| ◯アカガラス<br><b>ミンミンゼミ</b><br>カメムシ目ゼミ科     | ◯hiro-ma<br><b>ニイニイゼミ</b><br>カメムシ目ゼミ科          | ◯よつこ<br><b>ニホントカゲ</b><br>有鱗目トカゲ科        | ◯たなかけ<br><b>トノサマガエル</b><br>無尾目アカガエル科       | ◯KEI TEN<br><b>アカハライモリ</b><br>有尾目イモリ科 |

がいらい い  
**外来の生きもの**

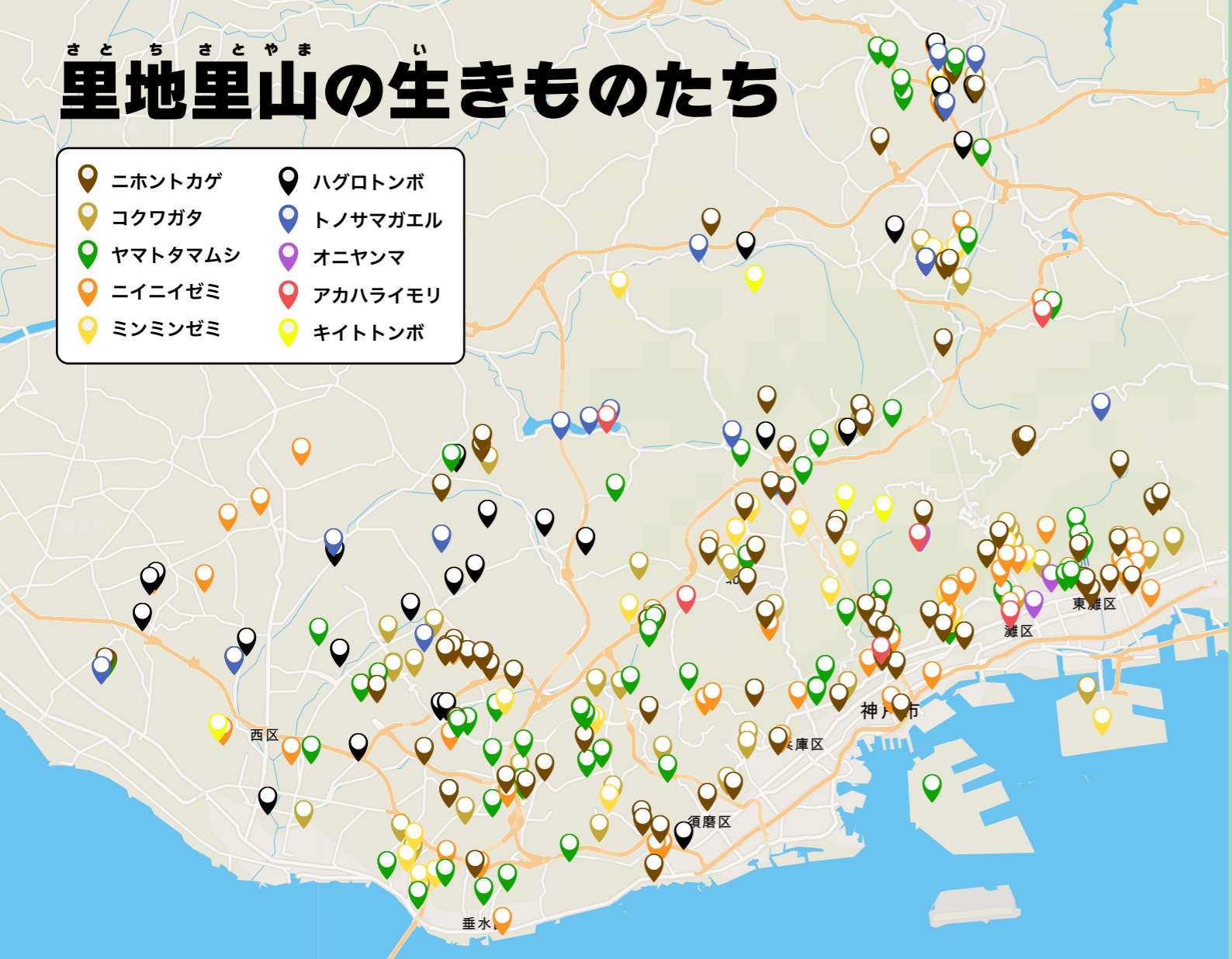
- |   |  |   |  |   |
|---|--|---|--|---|
| ◯ukuleleisland<br><b>ツヤハダゴマ<br/>ダラカミキリ</b><br>コウチュウ目カミキリムシ科 | ◯ドズル様<br><b>クビアカツヤ<br/>カミキリ</b><br>コウチュウ目カミキリムシ科 | ◯Amibear<br><b>キマダラカメムシ</b><br>カメムシ目カメムシ科 | ◯ムーニーマン<br><b>アメリカザリガニ</b><br>十脚目アメリカザリガニ科 | ◯ゴールデンコズット<br><b>アカミミガメ</b><br>カメ目ヌマガメ科 |
|---|--|---|--|---|

※調査期間中集まった全投稿のうち、誤判定や飼育個体と考えられる投稿を除外したものを「調査対象の情報」として集計しています。  
※本クエストは「調査期間中に神戸市内で上記の生物種のうち4種類を投稿」すれば達成というルールでした。



# さとちさとやま い 里地里山の生きものたち

- ニホントカゲ
- コクワガタ
- ヤマトタマムシ
- ニイニゼミ
- ミンミンゼミ
- ハグロトンボ
- トノサマガエル
- オニヤンマ
- アカハライモリ
- キイトンボ



Map data ©OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri

## じゅうよう さとちさとやま い ちようさ ちようさ 重要！里地里山の生きもの調査！

里地里山とは、農業や林業などの人と営みと自然が関わり合うことで生み出された自然環境のことです。田んぼや畑などの農地、ため池や雑木林など、様々な環境が集まるこの地域には、今回対象となっている生きものも多く生息していました。しかし現在、都市化や農業・林業の担い手不足等により里地里山が管理されずに荒廃し、一部の里地里山の生きものたちも少なくなりつつあります。この調査では、どの地域にどんな里地里山の生きものが分布しているかを明らかにしました。得られた結果は、これらの生きものたちのすみかである里地里山を保全していく取り組みに役立てます。

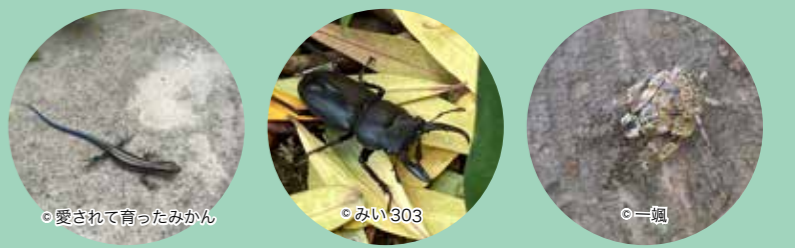
### はっけんすう 発見数

ニホントカゲ	: 96 件	ミンミンゼミ	: 39 件	オニヤンマ	: 7 件
コクワガタ	: 70 件	ハグロトンボ	: 34 件	キイトンボ	: 6 件
ヤマトタマムシ	: 66 件	トノサマガエル	: 16 件	アカハライモリ	: 6 件
ニイニゼミ	: 58 件				

## まち ちか はっけん い 街の近くで発見された生きもの



調査対象となっている里地里山の生きものの中で、ニホントカゲやコクワガタ、ニイニゼミは比較的都市部に近い場所でも見られました。これらの生きものは里地里山以外にも様々な環境に柔軟に適応し、山間部から都市部まで広い範囲に分布していることがわかりました。



- 96 件 ニホントカゲ
- 70 件 コクワガタ
- 58 件 ニイニゼミ

## さんかんぶ ちゆうしん はっけん い 山間部を中心に発見された生きもの

トノサマガエルやハグロトンボ、キイトンボは特に山間部周辺で多く発見され、都市部に近い場所ではあまり発見されませんでした。これらの生きものは都市化が進んでいない里地里山などの豊かな環境を好み、すみかが失われてしまうと数が少なくなってしまう可能性があることがわかりました。



- 16 件 トノサマガエル
- 34 件 ハグロトンボ
- 6 件 キイトンボ



## こうべ さとやま エスディーズ せんりやく KOBE 里山 SDGs 戦略

一生物多様性を守り、育てるために

神戸市では目指すべき里山を実現するための方策を明らかにするため「KOBE 里山 SDGs 戦略」を策定し、生物多様性を守り、育てる取り組みを行っています。里山を「知る」、里山を「まもる」、里山活動を「つなぐ・ひろげる」という3つの戦略を軸に、一人ひとりが里山の豊かな恵みを持続的に享受することを目的としています。



# が いら い 外 来 の 生 き も の た ち

- 📍 ツヤハダゴマダラカミキリ
- 📍 アメリカザリガニ
- 📍 キマダラカメムシ
- 📍 アカミミガメ

※誤判定や飼育個体と考えられる投稿は集計から除外しています。  
 ※今回の調査では、ミシシippアカミミガメの発見もアカミミガメとして集計しています。



Map data ©OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri



在来のゴマダラカミキリによく似ていますが、羽の付け根がスベスベなど、違いがあります

## ツヤハダゴマダラカミキリ

ツヤハダゴマダラカミキリは、近年市内で確認されている外来生物で、特に六甲アイランド（東灘区）で多く確認されています。幼虫は主にアキノレの木を食害し、被害が進むと木は枯れてしまいます。今回の調査では18件全て六甲アイランド内で発見され、六甲アイランドから分布が拡大していないと考えられますので、集中的に対策を行っていきます。2023年9月に特定外来生物に指定され、今後ますます市内に分布が拡大していないか注意する必要があります。



クビアカツヤカミキリのフラス

## クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリは、今回は発見されませんでした。近年市内で確認されている外来生物で、幼虫は主にサクラやウメ、モモの木を食害し、被害が進むと木は枯れてしまいます。幼虫が木の中を食を進めていく中で、大量のフラス（フンと木くずが混ざったもの、左写真参照）を出します。フラスは、褐色のカリントウ状でやや硬いのが特徴です。

**サクラの木に注目！「フラス」を見つけたら！**  
 市内への侵入を食い止めるため、身近なサクラ等の樹木で大量のフラスを見かけた場合は、環境局自然環境課までご連絡ください。  
 連絡先：環境局自然環境課 biodiversity@office.city.kobe.lg.jp  
 ※ 確認場所をご記入のうえ、写真を添付してください

## じゅうよう が いら い せ い ぶ つ ち ょ う さ ここが重要！外来生物の調査

国外から人間の活動によって持ち込まれた生きもののことを外来生物と呼びます。近年、日本には海外からますます多くの貨物が輸入され、外来生物が侵入するリスクが高くなっており、神戸市も例外ではありません。外来生物の中には、在来の生きものに影響を与えたり、農業被害などの人間に影響をおよぼしてしまうものもいるため、早期に対策を行っていくことが重要です。

この調査では、外来の生きものの分布状況や分布が拡大しているかを明らかにし、外来生物対策に役立てます。

はっけんすう 発見数

キマダラカメムシ	: 103件
アカミミガメ	: 26件
アメリカザリガニ	: 23件
ツヤハダゴマダラカミキリ	: 18件
クビアカツヤカミキリ	: 0件



## キマダラカメムシ

国内最大級のカメムシです。大都市の街中でもごく普通に見られますが、実は外来生物です。東南アジアで見られるカメムシであるキマダラカメムシの拡大には、地球温暖化が影響しているとも考えられています。キマダラカメムシは市内各地で見られ、市内全域に分布していることが分かりました。

公園や街路樹等、どこでも見られます。

## アカミミガメとアメリカザリガニ

アカミミガメはペット、アメリカザリガニはエサ用として日本に持ちこまれた生きものです。飼育されていたものが野外へ放流される等で野生化し、全国に分布拡大して在来の生きものに影響を与えています。今回は発見数は少なかったものの、市内全域に分布していることが分かりました。

アカミミガメとアメリカザリガニは2023年6月から「条件付特定外来生物」に指定されました。これらをペットとして（販売等の目的以外で）飼う場合には、許可なしにこれまで通り飼育し続けることができますが、野外への放流に関しては通常の特定外来生物と同様に禁止されています。



よく見られる生きものですが、生態系に影響のある外来生物です。

## 自治体初！外来生物に特化した展示施設！ 外来生物展示センター

当施設では専門員の解説のもと、生きた外来生物の展示やクイズで参加する体験型の展示など、外来生物問題をわかりやすく学ぶことができます。無料で土日に見学ができますが、休館日もあります。予約が必要なため、ホームページを確認の上、ご来場ください。

